

令和2年10月入学

令和3年 4月入学

新潟大学大学院医歯学総合研究科
医科学専攻（修士課程）

学 生 募 集 要 項

第1次募集：令和2年10月入学（外国人留学生）

令和3年 4月入学（一般入試）

第2次募集：令和3年 4月入学（一般入試）

新潟大学大学院医歯学総合研究科

〒951-8510

新潟市中央区旭町通1番町757番地

新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係

電話 （025）227-2015

新型コロナウイルスの感染拡大状況等により本募集要項の内容に変更が生じた場合は以下のとおりホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特にご注意願います。

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/>

入試日程

	令和2年10月入学 ※外国人留学生	令和3年4月入学 ＜第1次募集＞	令和3年4月入学 ＜第2次募集＞
出願資格確認・ 審査申請期限 (該当者のみ)	令和2年 7月1日(水)【必着】	令和2年 7月1日(水)【必着】	令和2年 10月15日(木)【必着】
出願手続期間	令和2年 7月15日(水)～ 7月22日(水)【必着】	令和2年 7月15日(水)～ 7月22日(水)【必着】	令和2年 11月5日(木)～ 11月12日(木)【必着】
試験日	令和2年 8月18日(火)	令和2年 8月18日(火)	令和2年 12月9日(水)
合格発表	令和2年 9月11日(金)	令和2年 9月11日(金)	令和3年 1月20日(水)
入学手続期間	令和2年 9月23日(水)～ 9月24日(木)	令和3年 3月1日(月)～ 3月3日(水)	令和3年 3月1日(月)～ 3月3日(水)

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、新潟大学ホームページの「受験生特設サイト」をご覧ください。

○受験生特設サイト：<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>

入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

目 次

I. 《第1次募集》令和2年10月入学・一般入試（外国人留学生）

1. 専攻及び募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願手続	2
4. 選抜方法	3
5. 出願資格の確認又は審査	4
6. 入学手続	5
7. その他	5

II. 《第1次募集》令和3年4月入学・一般入試

1. 専攻及び募集人員	7
2. 出願資格	7
3. 出願手続	8
4. 選抜方法	9
5. 出願資格の確認又は審査	10
6. 入学手続	11
7. その他	11

III. 《第2次募集》令和3年4月入学・一般入試

1. 専攻及び募集人員	13
2. 出願資格	13
3. 出願手続	14
4. 選抜方法	15
5. 出願資格の確認又は審査	16
6. 入学手続	17
7. その他	17

IV. 新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）入学案内

V. 本研究科所定用紙（出願書類等）

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

〔教育理念・目標〕

理念

大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）は、生命科学や技術の著しい進歩、多様化する医療課題、ニーズに対応するため、先端生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに、幅広いフィールドとの学際的研究を推進し、その成果を医療の発展に活かし、地域社会と世界の医療に貢献できる人材を育成することを理念とします。

目標

1. 先端生命科学を担う研究者の育成を図ります。
2. 疾病の診断・治療に役立つ研究者の育成を図ります。
3. 高度医療・保健指導を担当できる高度専門職業人の育成を図ります。
4. 医学、医療関連分野で指導的立場となる高度専門職業人の育成を図ります。
5. 社会人入学制度により、生涯教育を充実・普及させます。

〔教育内容・特色〕

1. 解剖学，生化学，生理学，免疫学，再生医学などの基礎医学，法医学，衛生学などの社会医学，病理学，最新の臨床医学のトピックなど，医学，医療全般を網羅した魅力ある講義カリキュラム
2. 医歯学総合研究科，医歯学総合病院，脳研究所に所属する教員による充実した指導体制
3. 入学者の希望する進路（博士課程進学希望者，高度専門職業人を志望する人など）に対応した教育，研究指導
4. 入学者の経歴に対応した学際的教育，研究指導
5. 社会人入学者に対応したカリキュラム
6. 多様な医療課題に柔軟に対応した高度専門職業人育成プログラム
（学会認定資格等を取得するための教育プログラム）

〔求める学生像〕

- ・大学卒業相当の基礎的学力を習得している人で，出身学部は問いません。
- ・医学・医療，また，その関連分野で，研究者や高度専門職業人として社会に貢献できる人，自ら研究課題を開拓し独創的な研究を遂行したい人，研究による成果をもとに世界の医療に貢献できる人，研究者，高度専門職業人の育成に貢献できる人を求めます。さらに，社会人学生は，各種産業界における人材育成，外国人留学生は，自国における人材育成に強い意欲を持つ人を求めます。

〔入学者選抜の基本方針〕

一般入試

志望する教育研究分野に対する高い理解度を持ち，研究に必要な語学力を有する人を選抜します。

1. 学力検査は，外国語（英語）を課し，基礎的学力を評価します。
2. 面接は，教育研究分野に対する理解度，研究に対する意欲，研究計画について評価します。

I. 第 1 次 募 集

令和 2 年 10 月入学 (外国人留学生)

一 般 入 試

- 外国人留学生を対象に、令和2年10月入学 新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）の学生を、次のとおり募集します。

1. 専攻及び募集人員

医科学専攻（修士課程）外国人留学生 若干人

（注）出願に際しては、あらかじめ志望する教育研究分野の担当教員に問い合わせてください。
問い合わせ先のEメールアドレス、電話番号は教育研究分野一覧を参照してください。

2. 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者

- （1）学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学（修業年限4年以上）を卒業した者及び令和2年9月までに卒業見込みの者
- （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和2年9月までに授与される見込みの者
- （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年9月までに修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年9月までに修了見込みの者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- （6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上ある課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和2年9月までに授与される見込みの者
- （7）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年9月までに修了見込みの者
- （8）文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- （9）学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- （10）令和2年9月30日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- （11）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年9月30日までに22歳に達するもの

注1. 出願資格（3）、（4）、（6）又は（9）～（11）のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、4ページの「5. 出願資格の確認又は審査」を参照の上、申請受付期間に申請書類を提出してください。

注2. 障がいや有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、令和2年7月1日（水）までに入試・臨床実習係に相談してください。

3. 出 願 手 続

(1) 出願手続期間

令和2年7月15日（水）～7月22日（水）（必着）

〈持参の場合〉受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送（書留速達に限る）の場合〉出願期間内に必着とします。

(2) 出願書類等（①②⑤⑦⑩⑪⑫は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。）

①入 学 志 願 票	裏面（履歴書）も必ず記入してください。なお、「 検定料納付証明書（新潟大学提出用） 」を所定欄に確実に貼ってください。（※ 取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。 ）
②受 験 票 ・ 写 真 票	写真（出願日前3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください）をそれぞれに貼ってください。
③卒 業 証 明 書 又は卒業見込証明書	出身大学（学部）長が作成したものとしします。
④成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し厳封したものとしします。 大学院研究科修士（博士前期）課程修了者は、学部在籍時の成績証明書を提出してください。
⑤志 望 理 由 書	必要事項を記入してください。
⑥在留カードの写し又は パスポートの写し	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦受 験 承 諾 書 ※該当者のみ	出願時に在職中の者は、所属長の職印で承諾されたものを提出してください。
⑧学 位 授 与 証 明 書 ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
⑨短期大学又は高等専門 学校の専攻科の修了 （見込み）証明書及び 学士の学位授与申請書 の受理証明書（又は学 士の学位授与を大学改 革支援・学位授与機構 に申請予定である旨の 証明書） ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は、提出してください。（1ページの「2. 出願資格」（2）の、授与される見込みの者） 専攻科の修了（見込み）証明書及び学位授与申請予定の証明書は、出身（在籍）短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出してください。 学位授与申請書の受理証明書は、大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。
⑩返 信 用 封 筒	封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 「受験票在中」の小封筒には郵便切手384円分を貼ってください。 「合格通知書在中」の小封筒及び「入学手続書類在中」の大封筒には郵便切手を貼る必要はありません。
⑪検 定 料 <u>30,000 円</u>	本要項に添付の「 振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科（修士課程）入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用） 」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、 必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。

	なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは、令和2年7月8日（水）～7月22日（水）[15時00分]までの期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日の振込みはできません。） ③ ATM（現金自動預払機）での振込みはできません。
⑫検定料納付証明書 （新潟大学提出用）	金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を入学志願票の所定欄に貼ってください。 （※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）

（3）出願方法

上記①～⑩及び⑫の出願書類を郵送（書留速達）又は持参してください。

なお、郵送の場合は、本要項に添付の指定封筒（「大学院修士課程出願書類在中」）を使用してください。

（4）提出先 新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係

（〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地）

注1. 提出後の出願書類の内容変更は認めません。

注2. 既納の検定料及び出願書類は、返還しません。

ただし、検定料払込み後、出願期間内に書類を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000円）を返還します。

詳細は、本学ホームページの

「受験生特設サイト」（<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>）

→「納付済検定料返還手続」を参照してください。

なお、納付済検定料返還請求書の郵送を希望される方は、財務部財務管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学財務部財務管理課収入係

電話（025）262-6053

注3. 卒業証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、改氏名の事実を確認できる書類（戸籍抄本等・コピーでも可）を併せて提出してください。

注4. 出願書類③、④及び⑦の証明書、承諾書の印は、個人印・社印ではなく、大学長・学部長あるいは社長・支店長等の、職を表す印に限りします。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、外国語科目、面接の結果及び出願書類を総合して行います。

（1）試験日時

期 日	時 間	科 目 等
令和2年8月18日（火）	10:00 ～ 11:30	外国語（英語）
	13:00 ～	面接（第1志望）
	14:00 ～	面接（第2志望）

*外国語（英語）は辞書（英和・和英）の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び医学辞書は不可とします。

（2）試験場

新潟大学医学部 （新潟市中央区旭町通1番町757番地）

(3) 合 格 発 表

令和2年9月11日(金) 午前10時

医学部医学科大講義室前に合格者の受験番号を掲示により発表すると同時に、合格者には、合格通知書を郵送します。

なお、電話での可否に関する問い合わせには、一切応じません。

5. 出願資格の確認又は審査

「2. 出願資格(3), (4), (6) 又は(9)～(11)」のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、申請受付期間に申請書類を提出してください。

(1) 申請受付期間

令和2年6月22日(月)～7月1日(水)

〈持参の場合〉受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送の場合〉申請受付期間内に必着とします。

(2) 「2. 出願資格(3), (4) 又は(9)～(11)」の申 請 書 類 (①及び④の研究業績調書は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。)

①出願資格確認・審査申請書	必要事項を記入してください。
②最終学歴に関する証明書	卒業(修了)証明書, 成績証明書(短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科を卒業(修了)した者は、短期大学又は高等専門学校の卒業(修了)証明書, 成績証明書を併せて提出してください。)
③最終学歴の学校に関する資料	入学資格, 卒業(修了)要件, 修業年限が記載されている資料(学則・規程, 学生便覧等の写し)を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
④その他学修・研究に関する資料	科目等履修生等で学修した者は、科目等履修生等の成績証明書等を提出してください。また、研究業績がある者は、研究業績調書及び論文の別刷又は写し等内容が確認できる資料を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑤在学期間証明書又は退学証明書	中途退学者は、出身大学(学部)長が作成したものを提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑥在留カードの写し又はパスポートの写し	在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し(氏名等が記載されているページ)を提出してください。
⑦返 信 用 封 筒	封筒(長形3号)に志願者の郵便番号, 住所及び氏名を明記し, 郵便切手374円分を貼ってください。

※「2. 出願資格(6)」の申請書類は、入試・臨床実習係から指示しますので、「7. その他」の問い合わせ先に連絡してください。

(3) 提 出 先 新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係

(〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地)

注1. 提出後の申請書類の内容変更は認めません。また、申請書類は返還しません。

注2. 外国語で記載された書類には、日本語の訳文を添付してください。

(4) 出願資格の確認又は審査

確認又は審査は、提出された申請書類により行います。

(5) 確認又は審査の結果通知

結果は、確認又は審査終了後すみやかに申請者宛に通知します。

6. 入 学 手 続

入学手続期間： **令和2年9月23日（水）～9月24日（木）**（必着）

郵送又は持参してください。郵送の場合は、書留速達とし、持参の場合は午前8時30分から午後5時までとします。

入学手続に必要な提出書類等の詳細については、合格者に別途通知します。

7. そ の 他

出願手続後、現住所又は連絡先に変更が生じた時は、すみやかに入試・臨床実習係に連絡してください。

＜問い合わせ先＞

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話（025）227-2015

Ⅱ. 第 1 次 募 集

令和 3 年 4 月入学

一 般 入 試

- 令和3年4月入学 新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）の学生を、次のとおり募集します。

1. 専攻及び募集人員

医科学専攻（修士課程） 20人

（注）出願に際しては、あらかじめ志望する教育研究分野の担当教員に問い合わせてください。
問い合わせ先のEメールアドレス、電話番号は教育研究分野一覧を参照してください。

2. 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者

- （1）学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学（修業年限4年以上）を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
- （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
- （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- （6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上ある課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
- （7）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- （8）文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- （9）学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- （10）令和3年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- （11）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに22歳に達するもの

注1. 出願資格（3）、（4）、（6）又は（9）～（11）のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、10ページの「5. 出願資格の確認又は審査」を参照の上、申請受付期間に申請書類を提出してください。

注2. 障がいや有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、令和2年7月1日（水）までに入試・臨床実習係に相談してください。

3. 出 願 手 続

(1) 出願手続期間

令和2年7月15日（水）～7月22日（水）（必着）

〈持参の場合〉受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送（書留速達に限る）の場合〉出願期間内に必着とします。

(2) 出願書類等（①②⑤⑦⑩⑪⑫は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。）

①入 学 志 願 票	裏面（履歴書）も必ず記入してください。なお、「 検定料納付証明書（新潟大学提出用） 」を所定欄に確実に貼ってください。（※ 取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。 ）
②受 験 票 ・ 写 真 票	写真（出願日前3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください）をそれぞれに貼ってください。
③卒 業 証 明 書 又は卒業見込証明書	出身大学（学部）長が作成したものとしします。
④成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し厳封したものとしします。 大学院研究科修士（博士前期）課程修了者は、学部在籍時の成績証明書を提出してください。
⑤志 望 理 由 書	必要事項を記入してください。
⑥在留カードの写し又は パスポートの写し ※該当者のみ	外国籍を有する者は、在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦受 験 承 諾 書 ※該当者のみ	出願時に在職中の者は、所属長の職印で承諾されたものを提出してください。
⑧学 位 授 与 証 明 書 ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
⑨短期大学又は高等専門 学校の専攻科の修了 （見込み）証明書及び 学士の学位授与申請書 の受理証明書（又は学 士の学位授与を大学改 革支援・学位授与機構 に申請予定である旨の 証明書） ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は、提出してください。（7ページの「2. 出願資格」（2）の、授与される見込みの者） 専攻科の修了（見込み）証明書及び学位授与申請予定の証明書は、出身（在籍）短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出してください。 学位授与申請書の受理証明書は、大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。
⑩返 信 用 封 筒	封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 「受験票在中」の小封筒には郵便切手384円分を貼ってください。 「合格通知書在中」の小封筒及び「入学手続書類在中」の大封筒には郵便切手を貼る必要はありません。
⑪検 定 料 30,000 円	本要項に添付の「 振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科（修士課程）入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用） 」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。 その際、 必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。

	なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは、令和2年7月8日(水)～7月22日(水)〔15時00分〕までの期間内に必ず行ってください。 (※土・日曜日の振込みはできません。) ③ A T M (現金自動預払機)での振込みはできません。
⑫検定料納付証明書 (新潟大学提出用)	金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を入学志願票の所定欄に貼ってください。 (※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)

(3) 出願方法

上記①～⑩及び⑫の出願書類を郵送(書留速達)又は持参してください。

なお、郵送の場合は、本要項に添付の指定封筒(「大学院修士課程出願書類在中」)を使用してください。

(4) 提出先 新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係

(〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地)

注1. 提出後の出願書類の内容変更は認めません。

注2. 既納の検定料及び出願書類は、返還しません。

ただし、検定料払込み後、出願期間内に書類を提出しなかった場合は、当該検定料(30,000円)を返還します。

詳細は、本学ホームページの

「受験生特設サイト」(<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>)

→「納付済検定料返還手続」を参照してください。

なお、納付済検定料返還請求書の郵送を希望される方は、財務部財務管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学財務部財務管理課収入係

電話(025)262-6053

注3. 卒業証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、改氏名の事実を確認できる書類(戸籍抄本等・コピーでも可)を併せて提出してください。

注4. 出願書類③、④及び⑦の証明書、承諾書の印は、個人印・社印ではなく、大学長・学部長あるいは社長・支店長等の、職を表す印に限りします。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、外国語科目、面接の結果及び出願書類を総合して行います。

(1) 試験日時

期 日	時 間	科 目 等
令和2年8月18日(火)	10:00～11:30	外国語(英語)
	13:00～	面接(第1志望)
	14:00～	面接(第2志望)

*外国語(英語)は辞書(英和・和英)の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び医学辞書は不可とします。

(2) 試験場

新潟大学医学部 (新潟市中央区旭町通1番町757番地)

(3) 合 格 発 表

令和2年9月11日(金) 午前10時

医学部医学科大講義室前に合格者の受験番号を掲示により発表すると同時に、合格者には、合格通知書を郵送します。

なお、電話での可否に関する問い合わせには、一切応じません。

5. 出願資格の確認又は審査

「2. 出願資格(3), (4), (6) 又は(9)～(11)」のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、申請受付期間に申請書類を提出してください。

(1) 申請受付期間

令和2年6月22日(月)～7月1日(水)

〈持参の場合〉受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送の場合〉申請受付期間内に必着とします。

(2) 「2. 出願資格(3), (4) 又は(9)～(11)」の申 請 書 類 (①及び④の研究業績調書は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。)

①出願資格確認・審査申請書	必要事項を記入してください。
②最終学歴に関する証明書	卒業(修了)証明書, 成績証明書(短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科を卒業(修了)した者は、短期大学又は高等専門学校の卒業(修了)証明書, 成績証明書を併せて提出してください。)
③最終学歴の学校に関する資料	入学資格, 卒業(修了)要件, 修業年限が記載されている資料(学則・規程, 学生便覧等の写し)を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
④その他学修・研究に関する資料	科目等履修生等で学修した者は、科目等履修生等の成績証明書等を提出してください。また、研究業績がある者は、研究業績調書及び論文の別刷又は写し等内容が確認できる資料を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑤在学期間証明書又は退学証明書	中途退学者は、出身大学(学部)長が作成したものを提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑥在留カードの写し又はパスポートの写し ※該当者のみ	外国籍を有する者は、在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し(氏名等が記載されているページ)を提出してください。
⑦返 信 用 封 筒	封筒(長形3号)に志願者の郵便番号, 住所及び氏名を明記し, 郵便切手374円分を貼ってください。

※「2. 出願資格(6)」の申請書類は、入試・臨床実習係から指示しますので、「7. その他」の問い合わせ先に連絡してください。

(3) 提 出 先 新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係

(〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地)

注1. 提出後の申請書類の内容変更は認めません。また、申請書類は返還しません。

注2. 外国語で記載された書類には、日本語の訳文を添付してください。

(4) 出願資格の確認又は審査

確認又は審査は、提出された申請書類により行います。

(5) 確認又は審査の結果通知

結果は、確認又は審査終了後すみやかに申請者宛に通知します。

6. 入 学 手 続

入学手続期間： **令和3年3月1日（月）～3月3日（水）**（必着）

郵送又は持参してください。郵送の場合は、書留速達とし、持参の場合は午前8時30分から午後5時までとします。

入学手続に必要な提出書類等の詳細については、合格者に別途通知します。

7. そ の 他

出願手続後、現住所又は連絡先に変更が生じた時は、すみやかに入試・臨床実習係に連絡してください。

＜問い合わせ先＞

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話（025）227-2015

Ⅲ. 第 2 次 募 集

令和 3 年 4 月入学

一 般 入 試

- 令和3年4月入学 新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）の学生を、次のとおり募集します。

1. 専攻及び募集人員

医科学専攻（修士課程） 若干人

（注）出願に際しては、あらかじめ志望する教育研究分野の担当教員に問い合わせてください。
問い合わせ先のEメールアドレス、電話番号は教育研究分野一覧を参照してください。

2. 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者

- （1）学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学（修業年限4年以上）を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
- （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
- （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- （6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上ある課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
- （7）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
- （8）文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- （9）学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- （10）令和3年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- （11）本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに22歳に達するもの

注1. 出願資格（3）、（4）、（6）又は（9）～（11）のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、16ページの「5. 出願資格の確認又は審査」を参照の上、申請受付期間に申請書類を提出してください。

注2. 障がいや有する者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、令和2年10月15日（木）までに入試・臨床実習係に相談してください。

3. 出 願 手 続

(1) 出願手続期間

令和2年11月5日（木）～11月12日（木）（必着）

〈持参の場合〉受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送（書留速達に限る）の場合〉出願期間内に必着とします。

(2) 出願書類等（①②⑤⑦⑩⑪⑫は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。）

①入 学 志 願 票	裏面（履歴書）も必ず記入してください。なお、「 検定料納付証明書（新潟大学提出用） 」を所定欄に確実に貼ってください。（※ 取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。 ）
②受 験 票 ・ 写 真 票	写真（出願日前3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください）をそれぞれに貼ってください。
③卒 業 証 明 書 又は卒業見込証明書	出身大学（学部）長が作成したものとしします。
④成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し厳封したものとしします。 大学院研究科修士（博士前期）課程修了者は、学部在籍時の成績証明書を提出してください。
⑤志 望 理 由 書	必要事項を記入してください。
⑥在留カードの写し又は パスポートの写し ※該当者のみ	外国籍を有する者は、在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦受 験 承 諾 書 ※該当者のみ	出願時に在職中の者は、所属長の職印で承諾されたものを提出してください。
⑧学 位 授 与 証 明 書 ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
⑨短期大学又は高等専門 学校の専攻科の修了 （見込み）証明書及び 学士の学位授与申請書 の受理証明書（又は学 士の学位授与を大学改 革支援・学位授与機構 に申請予定である旨の 証明書） ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は、提出してください。（13ページの「2. 出願資格」（2）の、授与される見込みの者） 専攻科の修了（見込み）証明書及び学位授与申請予定の証明書は、出身（在籍）短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出してください。 学位授与申請書の受理証明書は、大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。
⑩返 信 用 封 筒	封筒には、志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。 「受験票在中」の小封筒には郵便切手384円分を貼ってください。 「合格通知書在中」の小封筒及び「入学手続書類在中」の大封筒には郵便切手を貼る必要はありません。
⑪検 定 料 30,000 円	本要項に添付の「 振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科（修士課程）入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用） 」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。 その際、 必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。

	なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは、令和2年10月29日（木）～11月12日（木）〔15時00分〕までの期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日及び祝日の振込みはできません。） ③ ATM（現金自動預払機）での振込みはできません。
⑫検定料納付証明書 （新潟大学提出用）	金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を入学志願票の所定欄に貼ってください。 （※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）

（3）出願方法

上記①～⑩及び⑫の出願書類を郵送（書留速達）又は持参してください。

なお、郵送の場合は、本要項に添付の指定封筒（「大学院修士課程出願書類在中」）を使用してください。

（4）提出先 新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係

（〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地）

注1. 提出後の出願書類の内容変更は認めません。

注2. 既納の検定料及び出願書類は、返還しません。

ただし、検定料払込み後、出願期間内に書類を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000円）を返還します。

詳細は、本学ホームページの

「受験生特設サイト」（<https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>）

→「納付済検定料返還手続」を参照してください。

なお、納付済検定料返還請求書の郵送を希望される方は、財務部財務管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学財務部財務管理課収入係

電話（025）262-6053

注3. 卒業証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、改氏名の事実を確認できる書類（戸籍抄本等・コピーでも可）をあわせて提出してください。

注4. 出願書類③、④及び⑦の証明書、承諾書の印は、個人印・社印ではなく、大学長・学部長あるいは社長・支店長等の、職を表す印に限ります。

4. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、外国語科目、面接の結果及び出願書類を総合して行います。

（1）試験日時

期 日	時 間	科 目 等
令和2年12月9日（水）	10:00 ～ 11:30	外国語（英語）
	13:00 ～	面接（第1志望）
	14:00 ～	面接（第2志望）

*外国語（英語）は辞書（英和・和英）の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び医学辞書は不可とします。

（2）試験場

新潟大学医学部 （新潟市中央区旭町通1番町757番地）

(3) 合 格 発 表

令和3年1月20日(水) 午前10時

医学部医学科大講義室前に合格者の受験番号を掲示により発表すると同時に、合格者には、合格通知書を郵送します。

なお、電話での可否に関する問い合わせには、一切応じません。

5. 出願資格の確認又は審査

「2. 出願資格(3), (4), (6) 又は(9)～(11)」のいずれかに該当する者は、個別に資格確認又は審査を行うので、申請受付期間に申請書類を提出してください。

(1) 申請受付期間

令和2年10月5日(月)～10月15日(木)

〈持参の場合〉受付時間は、午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送の場合〉申請受付期間内に必着とします。

(2) 「2. 出願資格(3), (4) 又は(9)～(11)」の申請書類(①及び④の研究業績調書は、本要項に添付の所定用紙を使用してください。)

①出願資格確認・審査申請書	必要事項を記入してください。
②最終学歴に関する証明書	卒業(修了)証明書, 成績証明書(短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科を卒業(修了)した者は、短期大学又は高等専門学校の卒業(修了)証明書, 成績証明書を併せて提出してください。)
③最終学歴の学校に関する資料	入学資格, 卒業(修了)要件, 修業年限が記載されている資料(学則・規程, 学生便覧等の写し)を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
④その他学修・研究に関する資料	科目等履修生等で学修した者は、科目等履修生等の成績証明書等を提出してください。また、研究業績がある者は、研究業績調書及び論文の別刷又は写し等内容が確認できる資料を提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑤在学期間証明書又は退学証明書	中途退学者は、出身大学(学部)長が作成したものを提出してください。(出願資格(9)～(11)に該当する者のみ)
⑥在留カードの写し又はパスポートの写し ※該当者のみ	外国籍を有する者は、在留カードの写し(表裏両面)を提出してください。ただし、渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し(氏名等が記載されているページ)を提出してください。
⑦返信用封筒	封筒(長形3号)に志願者の郵便番号, 住所及び氏名を明記し, 郵便切手374円分を貼ってください。

※「2. 出願資格(6)」の申請書類は、入試・臨床実習係から指示しますので、「7. その他」の問い合わせ先に連絡してください。

(3) 提 出 先 新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係

(〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地)

注1. 提出後の申請書類の内容変更は認めません。また、申請書類は返還しません。

注2. 外国語で記載された書類には、日本語の訳文を添付してください。

(4) 出願資格の確認又は審査
確認又は審査は、提出された申請書類により行います。

(5) 確認又は審査の結果通知
結果は、確認又は審査終了後すみやかに申請者宛に通知します。

6. 入 学 手 続

入学手続期間： **令和3年3月1日（月）～ 3月3日（水）**（必着）

郵送又は持参してください。郵送の場合は、書留速達とし、持参の場合は午前8時30分から午後5時までとします。

入学手続に必要な提出書類等の詳細については、合格者に別途通知します。

7. そ の 他

出願手続後、現住所又は連絡先に変更が生じた時は、すみやかに入試・臨床実習係に連絡してください。

＜問い合わせ先＞

〒951-8510 新潟市中央区旭町通1番町757番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話（025）227-2015

IV. 新潟大学大学院医歯学総合研究科
医科学専攻（修士課程）入学案内

新潟大学大学院医歯学総合研究科

医科学専攻（修士課程）入学案内

1. 修 業 年 限

修士課程 標準修業年限 2 年

2. 履 修 方 法

本研究科において 2 年以上在学し、研究指導を受け、必修科目 30 単位の修得を要します。

3. 学 位 授 与

本研究科に 2 年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に修士（医科学、英訳：Master of Biomedical Science）を授与します。

4. 入学料及び授業料

（1）入 学 料 282,000 円（予定額）

（2）授 業 料 （前期分）267,900 円（後期分）267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

（注）在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時より新授業料が適用されます。

5. 入 学 料 免 除

次の（1）～（3）に該当する者のうち、入学手続期間内に所定の申請を行った者については、選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

（1） 経済的理由により入学料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者

（2） 入学前 1 年以内において、本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者

（3） 上記に準ずる場合であって、相当の事由があると認められる者

6. 授 業 料 免 除

次の（1）～（3）に該当する者のうち、入学後、所定期間内に申請を行った者については、選考の上、学期（前期・後期）ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

（1） 経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者

（2） 授業料の当該期の納期前 6 か月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前 1 年以内）又は納期中に、学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる者

（3） 上記に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者

7. 奨学金制度（外国人留学生を除く。）

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は、下記のとおりです。

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び経済的事情を審査し、選考の上、適格者を日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

貸与月額（令和2年度の場合）

第一種 50,000 円, 88,000 円から選択

第二種 5 万円, 8 万円, 10 万円, 13 万円, 15 万円から選択

1. Term of Study

Master's Program: two years (at least)

2. Requirement for completion

The student is required to register for at least two years in this course, receive the guidance for research of medical science, and to master thirty units of the compulsory subjects.

3. Presentation of Diplomas

Niigata University confers the degree of Master of Biomedical Science on the student satisfying the above conditions (see Section 2) and passing both his/her thesis for master and graduation examination.

4. Fees

- (1) Entrance Fee: ¥282,000 (estimated)
- (2) Tuition Fee: ¥535,800 per year (estimated)

5. Exemption and Reduction of Entrance Fee

The student can be exempted from the total or one-half of entrance fee upon our selection if one applies at the entrance procedures. One of the following conditions must be satisfied:

- (1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.
- (2) The student who has serious difficulties to pay the entrance fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within a year prior to the entrance.
- (3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

6. Exemption and Reduction of Tuition Fee

The student can be exempted from the total or one-half of tuition fee upon our selection if one applies after the entrance. One of the following conditions must be satisfied

- (1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.

- (2) The student who has serious financial difficulties to pay the tuition fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within half year prior to the date of payment of tuition fee (in case of new students; within a year prior to the entrance.)
- (3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

○ 「教育方法の特例」〔大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 14 条に定める教育方法の特例〕による教育について

医療・保健・福祉施設，教育研究機関，官公庁，企業等において活躍中の社会人が本研究科で学ぶ場合，2 年間完全に勤務を離れ学業に専念することになりますが，このような就学条件を満たすことは一般的に難しいことです。

そこで，このような社会人学生に対しては，大学院設置基準第 14 条の「大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」の規定に基づき，教育方法の特例を実施します。

この特例により，学生は，それぞれの研究テーマに応じ，指導教員と協議の上，通常の授業形態のほか，夜間講義や週末又は夏期等の休業期間における集中講義等による単位修得の便宜を受けて研究を継続させ，修士論文を作成することができます。

○ 長期にわたる教育課程の履修について

この制度は，学生が職業を有しているなどの理由により，標準修業年限（2 年）を超えて上限 2 年まで，計画的に教育課程を履修し，修了することができる制度です。

入学時に申請し認められた場合の授業料は，正規の修業年限の期間の 2 年間分でのよいことになります。

新潟大学大学院医歯学総合研究科

医科学専攻（修士課程）教育研究分野一覧

* e-mail は, 「niigata-u.ac.jp」の表記を, Tel は「025（市外局番）－227（局番）」の表記を省略しています。（連携大学院先端分子病態学分野を除く。）

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
肉眼解剖学 Tel：2045	佐藤 昇 nsato@med.	・末梢神経系の解剖学とその形成に関する研究 ・遺伝子改変動物モデルを用いた中枢神経系の機能解剖学 ・形態形成における比較解剖学とその進化的考察 ・生体への遺伝子導入法の開発・改良
神経生物・解剖学 Tel：2053	竹林 浩秀 takebaya@med.	・神経系の発生・生後発達の神経生物学的研究 ・神経幹細胞から特異的ニューロン・グリア細胞を産み出すメカニズムの解析 ・RNA 制御を介した神経系細胞機能の解析 ・再生医学による神経難病克服を目指した基礎研究 ・神経変性疾患モデル動物の病態解析 ・高次脳機能を担う神経回路の解析 * 当分野では, 神経系の発生・発達のメカニズム, 神経難病の病態解析などの神経科学研究を行っています。修士学生が, 自分で出した実験結果を学会や論文により発表し, ディスカッションできるようになることを目指して指導します。詳しくは研究室ホームページをご覧ください。
顕微解剖学 Tel：2059	問合せ先 准教授 三上 剛和 mikami-yoshikazu@med.	・細胞と組織の構造機能解析とイメージング ・走査型プローブ顕微鏡（原子間力顕微鏡や走査イオン伝導顕微鏡）の医学生物学応用 ・電子顕微鏡法, 特に走査電子顕微鏡法の開発と医学生物学応用
神経生理学 Tel：2068	長谷川 功 isaohasegawa@med.	ヒトの知性が脳のはたらきによりもたらされる機序を, 霊長類動物モデルを中心に実験的に検証することを目指します。脳に網をかけるように電極を張りめぐらせる皮質脳波法と呼ばれるアプローチで, 動物実験, 工学, 手術など多様な分野の技術を学びます。バックグラウンドは問わず, 『知性をもたらす』脳の謎に挑もうとする熱意のある人を歓迎します。研究テーマは次のとおりです。 ・視覚認知/イメージ/記憶の脳メカニズム ・文字言語の脳メカニズム ・社会認知に関わる脳回路の動態 ・脳回路を操作する光/化学遺伝学的手法の開発
分子生理学 Tel：2071	日比野 浩 hibinoh@med.	・新規薬物モニターシステムの開発と活用 ・内耳聴覚機能を支える特殊体液の電気生理学的・計算科学的研究

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		・音入力によって内耳に生ずる振動現象の研究 ・難聴を惹起する遺伝子改変動物の解析と病態生理連関の解明 ・理工学の先端技術を駆使した生体内計測装置の開発
オミクス生物学 Tel：2077	松本 雅記 masakim@med.	タンパク質はあらゆる生命現象に関わる重要な機能素子です。私たちの研究室では、タンパク質の発現量や翻訳後修飾、さらにはタンパク質間相互作用などを網羅的かつ定量的に計測する様々な技術を開発し、がんなどの疾患の研究への応用を行っています。 ・オミクス技術によるがんや老化の分子基盤に関する研究 ・タンパク質動態制御機構に関する研究 ・マルチオミクス計測によるシステム生物学的研究 ・タンパク質化学やプロテオミクスにおける技術開発
分子細胞機能学 Tel：2083	五十嵐 道弘 tarokaja@med.	・神経成長・再生とシナプス形成に関与する生化学的研究 ・細胞外基質の細胞・臓器機能に関する研究 ・神経成長円錐の機能に関する分子レベルの研究 ・神経伝達と細胞内輸送の分子機構の研究 ・脳機能と再生に関するシグナル伝達の研究
薬理学 Tel：2087	平島 正則 masanori@med.	脈管系の発生とそれらの異常で生じる病態について、遺伝子変異マウスを用いて研究しています。 ・リンパ管・血管発生の制御機構に関する研究 ・体液分布の制御機構に関する研究 ・胎仔疾患モデルマウスを用いた病態制御法の開発 ・腫瘍における血管・リンパ管に関する研究
実験病理学 Tel：2102	近藤 英作 ekondo@med.	・がん細胞とがん制御遺伝子の分子病理学研究 ・悪性腫瘍の病理組織学的研究 ・新規病理診断技術の開発研究 ・ナノ制がん医療技術の開発研究
細菌学 Tel：2050	松本 壮吉 sohkichi@med.	・細菌の病原性や生命現象の解明 ・感染病原体に対する体をまもるしくみ（免疫）の解析 ・感染症や難病に対するワクチン開発や創薬 ・アジアやアフリカにおける感染症の調査と国際協力
ウイルス学 Tel：2115	藤井 雅寛 fujiimas@med.	・ウイルス性神経疾患の発症機構 ・ストレス応答の分子機構 ・ウイルス性白血病の発症機構 ・ウイルスの感染から放出までの分子機構 ・ウイルスに対する宿主応答の分子機構 ・ウイルス病発症に関与する宿主因子の研究 ・抗ウイルス薬に関する研究
社会・環境医学 Tel：2124	中村 和利 kazun@med.	加齢性疾患の予防医学研究を行っています。具体的には下記のテーマの研究が現在行われていますが、これら以外のテーマの研究も行うことは可能です。 ・認知症、骨粗鬆症性骨折、膝関節症、身体機能低下、フ

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		・ レイル、慢性疼痛の大規模疫学研究（村上コホート研究） ・ 認知症予防のためのオミックス研究（尿プロテオミクス研究など） ・ 胆のうがんの国際分子疫学研究（ペルー、ボリビア、チリ、インド） ・ ビタミンD・カルシウムの疾病予防効果に関する研究 ・ 環境医学，産業医学
国際保健学 Tel：2129	齋藤 玲子 jasmine@med.	・ 国際保健 ・ インフルエンザウイルス感染症の治療効果，ウイルスの検出（ウイルス分離・培養，PCR），進化の解析（遺伝子解析），薬剤耐性インフルエンザの検出（薬剤感受性試験） ・ インフルエンザ・ワクチンの効果 ・ RS ウイルス感染症の分子疫学，地域における伝播解析 ・ 海外のインフルエンザの調査（ミャンマー，マレーシア，レバノン，ベトナムなど） ・ J-GRID「ミャンマーにおける呼吸器感染症制御へアプローチ」 ・ 呼吸器ウイルスの検出 ・ GIS（地理情報システム）地図を用いた感染症の伝播解析（インフルエンザや RS ウイルスの地理的伝播経路の解析） ・ GIS を用いた地域のソーシャルキャピタル（地域のつながり・幸福度）と健康の評価 ・ GIS を用いた福島県南相馬市における放射能汚染地図の作成 ・ GIS を用いた地域における高齢者の介護・医療の評価 ・ 地域医療計画
免疫学・医動物学 Tel：2133	片貝 智哉 katakai@med.	・ マウスを用いた免疫細胞と機能分子の解析 ・ リンパ節や脾臓を中心とした免疫組織の構造と機能 ・ 免疫組織のストローマ細胞の性質と機能 ・ 生体イメージングを用いた免疫細胞の動態解析 ・ 自己免疫疾患やアレルギー疾患における免疫細胞と組織環境 ・ がんのリンパ節転移における免疫応答と組織環境
法医学 Tel：2146	高塚 尚和 houi@med.	・ 法医病理学 ・ 法医画像診断学 ・ 法医中毒学 ・ 臨床法医学（子どもの虐待とネグレクト） ・ 歯科法医学 ・ 法医同位体学 ・ 死因究明に係る法律学 上記の教育・研究内容は，「死因究明に係る高度専門職業人育成プログラム」の一環として実施します。

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
機能制御学 Tel：2156	神吉 智丈 kanki@med.	ミトコンドリアは細胞の活動に必要なエネルギーを作る重要な小器官です。ミトコンドリアの質や量が低下するとエネルギーが足りなくなり、細胞は正常に活動できなくなってしまいます。近年、ミトコンドリアは神経変性疾患や糖尿病など様々な疾患や老化と深く関連することが明らかになってきました。研究室では、ミトコンドリアの質や量がどのように維持されているかなど、ミトコンドリア機能と健康に関する研究を行っています。 ・異常なミトコンドリアを排除するミトコンドリアオートファジーと呼ばれる現象の分子機構の解明 ・ミトコンドリアオートファジーの生理的意義の探索 ・ミトコンドリアが原因となる疾患の治療法開発 ・新しいミトコンドリア解析技術の開発
腎構造病理学 Tel：2152	問合せ先 准教授 矢尾板 永信 eyaoita@med.	・細胞間接着装置と細胞骨格を中心とした腎糸球体上皮細胞特性の解析 ・腎糸球体上皮細胞の培養法の確立 ・腎糸球体上皮細胞を中心とした糸球体構築の解析 *当分野は、医歯学総合研究科附属腎研究センターに属する分野で主に細胞生物学的手法により腎臓病克服に向けた研究を行っている。
腎分子病態学 Tel：2160	河内 裕 kawachi@med.	研究内容 ・腎臓の解剖生理学 ・腎疾患の病理診断法 ・腎疾患モデル動物の作成法 ・腎固有細胞の培養法 ・慢性腎臓病の発症・進行メカニズムの解明 ・慢性腎臓病の新規治療法・診断法の開発 ・腎臓病と他臓器疾患発症との共通メカニズムの解明 ・腎臓の濾過ユニットである糸球体の発生、成熟機構の解明 ・糸球体の濾過機能の異常により起こる蛋白尿の発症メカニズムの解明 ・腎局所におけるレニン・アンジオテンシン系の機能、病態形成における役割の解明 *当分野は、医歯学総合研究科附属腎研究センターに属する分野で腎臓病克服に向けた基礎研究を行っている。 教育方針 腎臓分野での研究を通じ、研究倫理、実験法の基礎、実験結果の分析法などを指導する。また学会発表、論文発表法の指導を行い、2年間で研究者としての基盤ができるように教育する。
医学教育学 Tel：0273	鈴木 利哉 toshya@med.	医学教育学分野 ・医学教育カリキュラム研究

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		・医学教育教授法研究 ・医学教育学生評価法研究 ・シミュレーション医学教育研究 ・医学教育分野別評価研究 ・医学教育量的研究・質的研究 日本医学教育学会大会、世界医学教育学会（AMEE）等の学会で研究成果を発表します。
循環器内科学 Tel：2182	南野 徹 tminamino@med.	・老化に関する基礎・臨床研究 ・生活習慣病に関する基礎・臨床研究 ・心血管の再生医療に関する基礎・臨床研究 ・動脈硬化症疾患に関する基礎・臨床研究 ・不整脈の発症機序と治療に関する基礎・臨床研究 ・心不全の発症と進展に関する基礎・臨床研究
血液・内分泌・代謝内科学 Tel:025-368-9026	曾根 博仁 sone@med.	・これまで勉強してきた自分の専門分野を活かして、医療現場に役立つ医学研究をしてみたいと思いませんか？生活習慣病・動脈硬化分野（糖尿病，高血圧など）と悪性腫瘍（白血病，悪性リンパ腫など）の両方に，多分野からの研究参加者を募集中です。 ・看護師，保健師，臨床検査技師，薬剤師含む薬学，管理栄養士含む栄養/食品学，運動療法士含む体育学，臨床心理士含む心理学，教育学，生物学，数学・統計学・情報学・工学，経済学など多様な専門背景を活かした、患者さんに役立つ研究が可能です。 ・たとえば予防・予測（医療ビッグデータやゲノムデータの解析、人工知能 AI）や心理面も含む全身治療（例：食事・運動モチベーション，運動による予防・治療，患者教育），医療経済，生活習慣病（エネルギー代謝，炎症など）や腫瘍（遺伝子異常，幹細胞，免疫療法，分子標的療法など）の細胞分子生物学的メカニズムの解明など，具体的テーマについては希望に応じて幅広く対応可能なのでメールで相談してください。 ・細胞治療認定管理師，臨床培養士などの受験資格も取得可能です。
腎・膠原病内科学 Tel：2192	成田 一衛 naritai@med.	・腎疾患・高血圧に関する研究 ・原発性糸球体腎炎に関する研究 ・糖尿病・メタボリック症候群に関する研究 ・糖尿病性腎症の発症と進行に関する研究 ・腎不全の治療に関する研究 ・腎不全に伴う貧血の研究 ・腎機能低下に伴う骨・ミネラル代謝異常の研究 ・リウマチ・膠原病・アレルギー疾患に関する研究 ・免疫不全と感染症に関する研究

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
呼吸器・感染症内科学 臨床感染制御学 Tel:025-368-9321	菊地 利明 kikuchi@med.	・肺がん幹細胞を標的とした新規治療法の開発 ・肺がん化学療法時の腎障害予測因子の開発 ・気管支喘息の舌下免疫療法の開発 ・抗インターフェロンγ自己抗体の臨床的解析 ・炎症性肺疾患における元素分析 ・抗ミトコンドリア抗体と呼吸不全との関連解析 ・非結核性抗酸菌症の分子疫学的解析
消化器内科学 肝臓病学 Tel : 2202	寺井 崇二 terais@med.	・消化器疾患に対する修復再生療法の開発研究 ・消化器疾患に対する遺伝子治療に関する研究 ・消化器疾患の進展における免疫学的関与に関する研究 ・消化器癌の病態生理に関する研究 ・消化器疾患の代謝炎症に関する研究 ・消化・吸収・代謝制御に関する研究 ・栄養・サルコペニアに関する研究 ・腸内細菌と生体制御に関する研究 ・消化管運動，血流に関する研究 ・消化器疾患の内視鏡学診断，治療に関する研究 ・生体材料（バイオマテリアル）の臨床応用に関する研究 ・消化器疾患に関する尿プロテオミクス研究 ・ヘリコバクター・ピロリ関連胃病変に関する研究 ・ウイルス性肝炎の治療法に関する研究 ・胆道，膵悪性腫瘍の遺伝子診断に関する研究 ・Undiagnosed disease に関する研究 ・Exosome に関する研究
分子精神医学 精神医学 Tel : 2209	染矢 俊幸 psy@med.	・臨床精神薬理学 ・精神疾患の分子遺伝学 ・Neuroimaging ・発達精神医学 ・分子神経生物学 ・精神科診断学 ・心理教育
小児科学 小児保健学 Tel : 2222	齋藤 昭彦 asaitoh@med.	・新生児・未熟児の発達生理に関する研究 ・小児腎疾患に関する研究 ・分子生物学的研究（悪性腫瘍，循環器，腎，内分泌，感染症など） ・小児生活習慣病に関する研究 ・小児感染症，特にウイルス感染症に関する研究
腫瘍外科学 消化器・一般外科学 Tel : 2228	若井 俊文 wakait@med.	・腫瘍外科学 ・外科代謝・栄養学 ・肝移植・膵移植と免疫学 ・癌特異的蛋白質に関する研究 ・細胞の不死化と腫瘍形成に関する研究 ・癌の浸潤能および転移能に関する研究

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		・蛍光免疫染色を用いた DNA 損傷修復の解明 ・抗癌剤耐性機序の解明
呼吸循環外科学 Tel : 2240	土田 正則 masatsu@med.	・肺癌の臨床病理学的研究 ・心臓外科における機能評価解析 ・血管疾患の分子・病理学的研究 ・外科治療と血液凝固異常の研究 ・肺移植の基礎研究
整形外科 リハビリテーション医学 Tel : 2272	問合せ先 准教授 川島 寛之 inskawa@med.	・運動器の修復・再生に関する研究 ・骨・関節のバイオメカニクスの研究 ・脊椎・脊髄疾患の病態と治療の研究 ・手の外科の研究 ・骨・軟部腫瘍の研究 ・関節リウマチの病態と治療の研究 ・運動器リハビリテーションと QOL の研究 ・骨粗鬆症、骨代謝に関する研究 ・生活設計、生活支援に関する研究 ・スポーツ医学に関する研究 ・四肢、骨盤、脊椎・脊髄の外傷に関する研究 ・小児運動器疾患に関する研究
形成・再建外科学 Tel : 2593	松田 健 matsuken@med.	・微小外科の研究 ・四肢再建外科の研究 ・頭頸部再建の研究 ・末梢神経再生の研究 ・顎顔面外科の研究 ・唇裂・口蓋裂の研究 ・胸壁・乳房再建の研究 ・同種組織移植の研究
小児外科学 Tel : 2258	木下 義晶 kinoppy@med.	・新生児先天性外科疾患の QOL 向上を目指した外科治療の開発 ・小児の固形悪性腫瘍治療成績向上のための Niigata Tumor Board 研究 ・小児に適切な術前・術後の輸液・栄養管理の検討 ・小児期肝胆道外科疾患の病態解明と至適外科治療法の開発 ・小児における鏡視下手術の適応拡大と新規術式の工夫 ・小児における新規薬物療法（bFGF、漢方）の開発 ・消化管運動機能異常症の病態と生理 ・消化管運動機能異常症の新しい治療としての腸管ペーシング ・仙骨部高頻度磁気刺激法を用いた骨盤臓器機能回復のための神経調節 ・形状記憶合金コイルを用いた人工気管の開発

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
皮膚科学 Tel：2282	阿部 理一郎 aberi@med.	・毛組織の研究 ・毛組織関連遺伝子発現の研究 ・皮膚電子顕微鏡学 ・皮膚アレルギー学 ・皮膚遺伝性疾患の研究
腎・泌尿器病態学 分子腫瘍学 Tel：2285	問合せ先 准教授 齋藤 和英 kazsaito@med.	・腎の構造と機能 ・泌尿器科学一般 ・泌尿生殖器腫瘍の基礎と分子生物学 ・泌尿生殖器腫瘍の治療 ・泌尿器生理学と神経学 ・尿路形成手術 ・泌尿器科内視鏡学 ・アンドロロジー ・腎移植と腎機能再建
眼科学 Tel：2296	福地 健郎 tfuku@med.	・緑内障の病態解明と治療法の開発に関する研究 ・眼科手術学とレーザー治療に関する研究 ・眼感染症と化学療法，眼薬理学 ・眼病理学 ・神経眼科学 ・小児眼科学 ・臨床視覚電気生理学 ・視機能とQOLの研究 ・緑内障患者のロービジョンケアの研究
耳鼻咽喉・頭頸部 外科学 Tel：2303	堀井 新 ahorii@med.	・平衡神経科学 ・神経耳科学 ・側頭骨外科学 ・鼻科学 ・口腔咽頭科学 ・音声言語学 ・頭頸部外科学 ・頭蓋底外科学 ・喉頭・気管・食道科学
腫瘍放射線医学 機能画像医学 Tel：2315	問合せ先 准教授 吉村 宣彦 nyry1103@med.	・放射線診断学 ・放射線腫瘍学 ・医学物理学
生殖器官制御 生殖医学病態解析 Tel：2318	問合せ先 准教授 関根 正幸 masa@med.	・婦人科癌の遺伝子診断・新規原因遺伝子の同定 ・婦人科癌・子宮内膜症の分子生物学的研究 ・生活習慣病の発症・予防に関する分子生物学的解析 ・不育症と同種免疫 ・胎児出生前診断 ・男性不妊，顕微受精
麻酔科学 Tel：2323	馬場 洋 baba@med.	・麻酔薬の作用メカニズム ・急性痛のメカニズムと術中術後痛管理

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		・神経障害性痛のメカニズムと治療法 ・臨床神経生理・神経病理（術中神経系モニタリング） ・臨床呼吸循環生理（術中呼吸循環モニタリング）
救命救急医学 Tel：2338	問合せ先 准教授 本多 忠幸 honda@med.	・救急医療体制に関する研究 ・病院前診療に関する研究 ・重症患者管理に関する研究 ・器械的臓器補助に関する研究 ・生体信号とモニタリングに関する研究
腫瘍内科学 Tel:025-368-9004	西條 康夫 yasosj@med.	・腫瘍内科学一般 ・がん薬物療法，特に分子標的治療に関する研究 ・iPS細胞を用いた臓器再生に関する研究
分子・診断病理学 分子・病態病理学 Tel：2093	味岡 洋一 ajioka@med.	・食道癌，胃癌，大腸癌の発生と生長様式の解明 ・潰瘍性大腸炎，クローン病などの炎症性腸疾患に発生する大腸・小腸癌に関する多角的研究 ・癌の悪性度診断の精度向上に関する研究 ・外科病理診断学 ・計量形態診断学 ・食道癌，胃癌，大腸癌の内視鏡画像診断の向上のための基礎的研究
生殖医学病態解析 Tel：2320	問合せ先 准教授 西島 浩二 kojigyne@med.	・不育症と同種免疫 ・生殖異常と自己免疫異常 ・妊娠高血圧症候群の病態と免疫異常 ・生殖異常と遺伝子多型
薬剤評価学 Tel：2782	外山 聡 toyama@med.	・薬物投与設計（オーダーメイドの薬物治療を含む） ・臨床試験（治験を含む） ・薬剤経済学 ・薬物治療とリスクマネジメント（副作用および有害事象を含む） ・ドラッグデリバリーシステムと薬効
情報科学・統計学 Tel：2471	赤澤 宏平 akazawa@med.	・臨床試験デザイン立案と症例数算出の実践 ・医学統計学の解析手法とシミュレーション技法の習得 ・生存時間解析の理論と応用 ・医療情報システムの設計と導入効果の評価 ・医療経済・費用対効果分析の実践 ・機械学習の医療への応用
トランスレーショナルリサーチ 臨床免疫学		※今年度募集なし
総合診療医学 Tel：0718	問合せ先 准教授 長谷川 隆志 htaka@med.	・全人的医療の実践に関する研究 ・卒前医学教育・卒後臨床研修・後期専門研修・生涯医学教育の一貫性に関する研究 ・多職種連携・チーム医療に関する研究 ・Common Diseases，プライマリ・ケアに関する研究

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
分子神経生物学		※今年度募集なし
神経病理学 Tel：0673	柿田 明美 kakita@bri.	・剖検による脳神経疾患の臨床病理学的研究 ・ひと脳標本を用いた神経精神疾患（脳腫瘍、てんかん原性病巣、神経変性疾患、神経免疫疾患、発生発達期脳障害）の病態病理学的研究
脳神経外科学 Tel：0650	藤井 幸彦 yfujii@bri.	・脳機能温存の研究 ・脳機能再構築の研究 ・脳卒中後の機能回復メカニズムの研究 ・機能的脳疾患の病態・治療 ・脳腫瘍の病態・治療 ・脳血管障害の病態・治療
神経内科学 Tel：0663	小野寺 理 onodera@bri. 問合せ先 准教授 金澤 雅人 masa2@bri.	・認知症、パーキンソン病、ALS 等の神経難病の病態と治療 ・脳血管障害の病態と治療 ・免疫性神経筋疾患の病態と治療 ・多彩なモデル動物を利用した神経難病の病態解明 ・脳神経回路の再編，再生に関する研究
脳機能解析学 Tel：0676	問合せ先 生体磁気共鳴学分野 教授 五十嵐 博中 higara@bri.	・機能的磁気共鳴画像法を用いたヒト脳高次機能の研究 ・磁気共鳴分光法を用いたヒト脳代謝の研究 ・拡散磁気共鳴画像を用いたヒト脳の微細構造の研究 ・偏微分方程式モデルを用いたヒト脳機能の研究
生体磁気共鳴学 Tel：0676	五十嵐 博中 higara@bri.	・核磁気共鳴法を用いた脳の水動態の研究 ・磁気共鳴分光法を用いた脳代謝の研究 ・超変極磁気共鳴分光法の生体応用
神経病因遺伝学 Tel：2343	池内 健 ikeuchi@bri.	認知症のトランスレーショナル研究 ・認知症のゲノム解析 ・認知症のバイオマーカー開発 ・認知症のバイオバンク構築 ・認知症の臨床研究 遺伝カウンセラー認定養成プログラム 人類遺伝学、遺伝医学、分子生物学に関する講義を受け、医歯学総合病院・遺伝医療支援センターにおいて実際の遺伝医療の外来等の陪席実習を行います。遺伝カウンセラーとしての基本的な知識・技術・態度を習得し、認定遺伝カウンセラーの資格取得を目指します。
神経機能・発生・生殖工学 Tel：2163	動物資源開発研究分野 笹岡 俊邦 sasaoka@bri.	基礎医学研究においてモデル動物として有用な遺伝子改変動物を作製し、行動学、生化学、組織学、生理学的解析などを行います。現在注目されている小型霊長類コモンマーモセットの遺伝子改変による疾患モデル作製にも着手しています。また、国内外の研究者との高次脳機能解明に関する共同研究も多数行っており、研究を通して最新の

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
	モデル動物開発分野 准教授 阿部 学 manabu@bri. Tel : 0621	脳神経科学、分子生物学や生殖・発生工学に関する知識と技術を習得することができます。 ・疾患モデル動物の作製と遺伝子改変技術の開発 ・生殖補助医療等にも応用可能な生殖・発生工学技術開発 ・遺伝子改変動物を用いた脳機能分子の生理機能解析
分子神経疾患資源解析学		※今年度募集なし
細胞病態学 Tel : 0926	三國 貴康 tmikuni@bri.	・生体脳でのゲノム編集技術の開発と応用 ・生体脳での分子イメージング技術の開発と応用 ・学習記憶の生理の分子レベルでの理解 ・発達障害の疾患モデルの迅速な作製 ・発達障害の病態の分子レベルでの理解 *当分野では、神経科学研究の発展に貢献する独自の技術を開発します。二光子顕微鏡や電気生理などの手法と組み合わせ、生体脳における「学習・記憶の生理」と「発達障害の病態」を分子レベルの解像度で理解することを目指します。卒業後の研究の場としては、国内だけではなく海外の研究室にも紹介可能です。
システム脳病態学	田井中 一貴 kztainaka@bri. Tel:0900	・透明化脳標本を用いた 3D イメージング技術 ・脳小血管病の 3D 画像に基づく病理学的解析 ・てんかん原性脳病巣の 3D 画像に基づく病理学的解析 ・神経変性疾患の 3D 画像に基づく病理学的解析
	上野 将紀 ms-ueno@bri. Tel:0684	・神経回路の発生、発達、可塑性のメカニズム ・運動や自律神経系の神経回路の接続や機能の研究 ・脳卒中や脊髄損傷での神経再生、再編、修復に関する研究 ・神経-免疫-臓器連関の病態の解明 複雑に入りくむ脳の神経回路が、どのように作られはたらくのか、その仕組みの理解を目指しています。また、脳や脊髄が障害された場合、どのように神経回路を再生し、機能を回復するか研究します。遺伝子改変動物やウイルス神経トレーサー、分子生物学、組織学、イメージング、光・化学遺伝学、行動学など、脳神経科学の多様な解析技術を組みあわせ研究します。
脳病態解析学 Tel : 0646	松井 秀彰 hide0729@bri.	・小型魚類（ゼブラフィッシュ、メダカ、アフリカメダカ）を用いた神経疾患の病態研究 ・小型魚類を用いた加齢関連疾患の病態研究 ・小型魚類を用いた発達障害のメカニズム研究 ・培養細胞、小型魚類、マウス、ヒトなど様々な研究対象を比較して進めるパーキンソン病の病態研究および創薬研究 ・小型魚類は可視性、遺伝子改変の容易さ、老化モデルの存在、などから発生から老化、加齢関連疾患ま

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		で様々な研究に強みを発揮します。さらに脳研究所に保管されたヒト剖検脳の所見と対比することで魚からヒトの生老病死を見つめる研究をしています。
災害医療 Tel：2033	センター長 染矢 俊幸 問合せ先 特任教授 高橋 昌 masashi@med.	・災害医学一般 ・災害時の情報管理学（ソフトウェア・ハードウェア） ・災害教育学（シミュレーション医学教育） ・心肺蘇生法の教育理論と教育成果判定に関する研究 ・災害医療の多職種・地域への普及に関する研究 ・災害時ロジスティクスに関する研究 ・災害薬事に関する研究 ・国際災害支援に関する研究
教育研究分野	指導教員（准教授）	教育研究内容
神経発達学 Tel:0391	杉山 清佳 sugiyama@med.	・脳の発達を制御する遺伝子群の発見 ・経験が回路の個体差を生むメカニズムの研究 ・経験による抑制性ニューロンの成熟メカニズムの研究 ・幼児期における視覚の発達機構の研究 ・幼児期における情動の発達機構の研究 ・脳の柔軟性を大人で再現する方法の探索 こどもの脳の成長過程には、経験に応じて回路が作られる「臨界期」という特別な時期があります。臨界期に作られた回路は生涯個性として保たれることから、昨今、幼児教育を促す要因になっています。一方で、臨界期の異常は、回路の誤配線を招き、精神疾患の一因になることが示唆されています。研究室では、幼児期の経験によって回路形成に個体差が生まれる仕組みを、多様な技術を組み合わせて明らかにしていきます。
バイオインフォマティクス Tel：0390	奥田 修二郎 okd@med.	・腸内細菌叢のメタゲノムデータの解析手法の研究 ・腸内細菌叢の相互作用と疾患因子の関連についての研究 ・がんゲノムデータの解析手法の研究 ・リン酸化サイトの比較ゲノム研究 ・各種オミクスデータのデータベース構築 ・医療用人工知能の開発
腫瘍病態学 Tel：0617	武井 延之 nobtak@bri.	脳内には神経細胞やグリア細胞、また病態としての腫瘍細胞があり、発達過程でも機能が異なります。それらの細胞の中で起っていることを研究しています。 ・神経幹細胞、神経細胞、グリア細胞及び脳腫瘍細胞の細胞内情報伝達系の研究 ・神経幹細胞、神経細胞、グリア細胞及び脳腫瘍細胞の代謝の差異の解析 ・増殖因子、神経栄養因子、サイトカインの神経細胞、グリア細胞への作用の解析 ・mTOR シグナルと細胞サイズ制御の研究

連携大学院（客員教授）

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
先端分子病態学 Tel : 043-206-3300	辻 比呂志 tsuji.hiroshi@qst.go.jp	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 Q S T 病院 ・重粒子線治療法の確立に関する研究
先端分子病態学 Tel : 03-6834-2390	池田 和隆 ikeda-kz@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・依存症のゲノム解析，行動薬理学的解析，臨床応用研究 ・疼痛脆弱性および鎮痛薬感受性のゲノム解析，行動薬理学的解析，テーラーメイド医療への応用 ・自閉症，AD/HD などの発達障害の行動薬理学的，分子生物学的研究 ・快・不快情動の分子メカニズム研究
先端分子病態学 Tel : 03-5316-3311	吉川 欣亮 kikkawa-ys@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・哺乳類遺伝学を基盤とした視聴覚疾患の発症に 関与する遺伝子群の同定と解析 ・ヒト疾患モデルマウスの樹立による個体レベルでの疾患発症機構の解明
先端分子病態学 Tel : 03-6834-2373	西村 幸男 nishimura-yk@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・人工神経接続による脳機能再建法の開発とその臨床応用 ・脳脊髄損傷後の機能回復メカニズムの解明 ・意欲・情動による身体運動制御の神経メカニズムの解明 ・行動制御を支える前頭葉，大脳基底核，小脳の構造と機能
先端分子病態学 Tel : 03-5316-3100	佐久間 啓 sakuma-hs@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・ミクログリアの発達・分化の分子基盤 ・ミクログリアの分化誘導と治療応用 ・小児の炎症性神経疾患の病態解明
先端分子病態学 Tel:03-6834-2380	新井 誠 arai-mk@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・統合失調症のゲノム、症例研究を基軸とする分子基盤の解明 ・統合失調症のバイオマーカー同定とその分子基盤の解明 ・マウス・細胞モデルを活用した統合失調症の分子基盤の解明 ・社会還元のための疾患層別化と個別化治療・早期支援法の開発
先端分子病態学 Tel:03-6834-1779	糸川 昌成 itokawa-ms@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・精神・神経疾患の基礎的・臨床的研究 ・ヒトの精神・行動に関する基礎的・臨床的研究

教育研究内容についての詳細は、以下のホームページをご覧ください。

○新潟大学医学部医学科 HOME>教育・研究活動紹介>研究内容一覧

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/activity/research/index.html>

○新潟大学医学部医学科 HOME>概要（講座，教職員）

<http://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/summary/index.html>

○新潟大学医学部医学科 HOME>附属施設・関連施設

<https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/facility/index.html>

（注１） 志望する分野が決定している場合は、志望する研究分野の担当教員に必ず事前確認をしてください。教育研究分野により今年度は受け入れを行わない場合があります。

（注２） 第２志望がある場合は、第２志望分野の担当教員にも事前連絡をしてください。

（注３） 指導教員が不在の分野に志願する場合は、当該分野の問合せ先に相談してください。

（注４） 志望する分野が決められない場合は、下記の教員に相談してください。

○教育研究分野相談窓口

・神吉 智丈（機能制御学分野）

025-227-2156 kanki@med.niigata-u.ac.jp

・高塚 尚和（法医学）

025-227-2146 hou @med.niigata-u.ac.jp

不明な点は、新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係までお問い合わせください。

Tel : 025-227-2015 E-mail : medgakum@med.niigata-u.ac.jp

V. 本 研 究 科 所 定 用 紙

志 望 理 由 書

フリガナ 氏 名			※受験番号
学士の学位論文 (該当者のみ)	題 目		
第 1 志 望 教育研究分野		第 2 志 望 教育研究分野	
(本教育研究分野を第1志望にした理由を述べてください)			
(入学後の研究について)			

新潟大学大学院医歯学総合研究科

- (注意)
- 1 第2志望は教育研究分野名のみ記入してください。(第2志望がない場合は記入不要)
 - 2 パソコン等により作成する場合は、本様式に準じて別紙(A4判)に作成してください。
 - 3 ※印欄は記入しないでください。

(社会人入学者用)

令和 年 月 日

新潟大学大学院医歯学総合研究科長 殿

所 属 長

(職 名)

氏 名



受 験 承 諾 書

下記の者が新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻(修士課程)の入学試験を受験することを承諾いたします。

記

氏 名

- ☐ 令和2年10月入学
☐ 令和3年4月入学（第1次募集）
☐ 令和3年4月入学（第2次募集）
 （いずれか該当する募集区分をチェックしてください）

新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）

出願資格確認・審査申請書

フリガナ 氏 名 生年月日	19 年 月 日 生		性 別		国籍	
			男 ・ 女			
志望教育 研究分野	第1志望		第2志望			
連 絡 先	郵便番号 -					
	住所					
	電話 () - 携帯電話 () -					
	メールアドレス					
学 歴						
区 分	学 校 名	学校所在 国 名	規 定 の 修業年限	入学及び卒業(修了)年月		
初等教育 (小学校)			年	入 学	年	月
				卒 業	年	月
中等教育 (中学校)			年	入 学	年	月
				卒 業	年	月
中等教育 (高 校)			年	入 学	年	月
				卒 業	年	月
高等教育 (大 学)			年	入 学	年	月
				卒 業	年	月
高等教育 (大学院)			年	入 学	年	月
				修 了	年	月
その他 ()			年	入 学	年	月
				卒 業	年	月
研 究 歴	期 間	大学又は研究機関等名称		在籍身分	備 考	
	年 月から					
	年 月まで					
	年 月から					
	年 月まで					

研 究 歴	年 月から			
	年 月まで			
	年 月から			
	年 月まで			
勤 務 先 等 を 書 い て く だ さ い				
職 歴 等	年 月から			
	年 月まで			
	年 月から			
	年 月まで			
	年 月から			
	年 月まで			
	年 月から			
	年 月まで			
	年 月から			
	年 月まで			
	年 月から			
	年 月まで			
以 上 の と お り 相 違 あ り ま せ ん 。 署 名 _____ (印) 年 月 日				

- (注)
1. 志望教育研究分野の第2志望欄は、第2志望がない場合は記入不要です。
 2. 受験時までの履歴（学歴、研究歴、職歴等）をもれなく記入してください。
 3. 研究歴は、大学卒業後、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において研究生、研究員等として研究に従事した場合、その経歴を記入してください。
 4. 日本語学校等での学習歴がある場合は、学歴のその他欄に記入してください。
 5. 学校名、勤務先等は、すべて正式な名称で記入し、一切省略しないでください。
 6. 事実を隠したり、偽りを記入すると入学後でも入学を取り消すことがあります。
 7. 本申請書のほかに提出すべき書類については、4、10、16ページを確認してください。

研 究 業 績 調 書

氏 名 _____

著書名, 学術論文名, 演題名	発行, 発表年月日	発行所, 発表雑誌, 発表学会名	共著者名, 共同発表者名

(注) 論文の別刷又は写し等, 内容が確認できる資料を添付してください。

新潟大学大学院医歯学総合研究科

新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）

入学志願票

- ☐ 令和2年10月入学
- ☐ 令和3年4月入学（第1次募集）
- ☐ 令和3年4月入学（第2次募集）
- (いずれか該当する募集区分をチェックしてください)

フリガナ				※受験番号	
氏名		⑩		性別	
生年月日		19年 月 日生		年齢	
				歳	
志望教育研究分野		第1志望		教育研究分野	
		第2志望		教育研究分野	
出願資格	大学	年 月 大学		学部 学科 〔中退・卒業・卒業見込〕	
	大学院	年 月 大学大学院		研究科 課程 〔中退・修了・修了見込〕	
	その他				
本人連絡先		〒		検定料納付証明書 (新潟大学提出用)	
		電話 () — — 携帯電話 — — メールアドレス			
上記以外の連絡先		〒		貼付欄	
		電話 () — — 携帯電話 — —			

- (記入上の注意)
1. 黒のボールペンを用い、楷書で記入してください。

2. 履歴事項を裏面に記入してください。

3. ※印欄は記入しないでください。

4. 年齢は、令和2年10月入学志願者は令和2年10月1日現在の、令和3年4月入学志願者は令和3年4月1日現在の満年齢を記入してください。

5. 志望教育研究分野の第2志望欄は、第2志望がない場合は記入不要です。
- (裏面記入欄あり)

- ☐ 令和2年10月入学
- ☐ 令和3年4月入学（第1次募集）
- ☐ 令和3年4月入学（第2次募集）
- (いずれか該当する募集区分をチェックしてください)

新潟大学大学院医歯学総合研究科
医科学専攻（修士課程）

受験票

※受験番号		性別
フリガナ氏名		男・女
生年月日	19年 月 日生	
写真貼付 写真は上半身、無帽、正面向きとし、出願以前3ヵ月以内に撮影したものを全面糊付けして貼ってください。 (縦4cm×横3cm)		
第1志望	教育研究分野	
第2志望	教育研究分野	

切り離さないでください

- ☐ 令和2年10月入学
- ☐ 令和3年4月入学（第1次募集）
- ☐ 令和3年4月入学（第2次募集）
- (いずれか該当する募集区分をチェックしてください)

新潟大学大学院医歯学総合研究科
医科学専攻（修士課程）

写真票

※受験番号		性別
フリガナ氏名		男・女
生年月日	19年 月 日生	
写真貼付 受験票の写真と同じものを貼ってください。		
第1志望	教育研究分野	
第2志望	教育研究分野	

切り離さないでください

履 歷 書

高等学校卒業から現在に至る経歴を年次に従いもれなく明記してください。
 なお、外国人留学生は、初等教育（小学校）入学から記入してください。

経歴	年・月・日	事 項
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	
	資 格	・ ・
・ ・		
・ ・		
賞 罰	・ ・	
	・ ・	
	・ ・	